

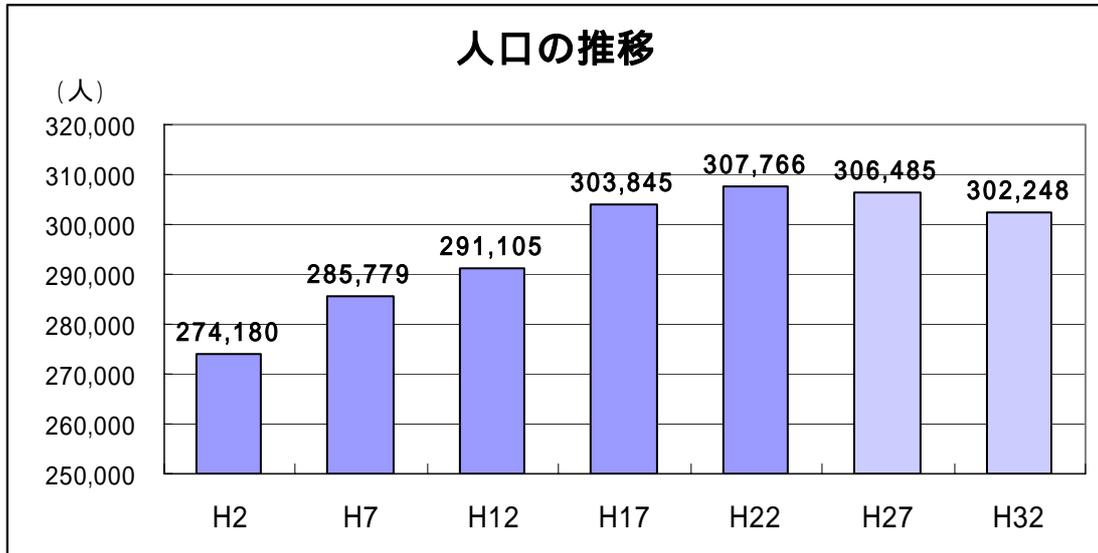
四日市市における子ども・子育て支援施策の現状

1．人口の推移	1 P
2．出生数の推移	2 P
3．合計特殊出生率の推移	3 P
4．就学前児童の状況	4 P
(1) 保育園の状況	5 ~ 7 P
(2) 幼稚園の状況	8 ~ 9 P
(3) 認可外保育施設の状況	10 P
5．地域子ども・子育て支援対象事業の状況	
(1) 地域子育て支援拠点事業	11 ~ 12 P
(2) 妊婦健康診査	13 P
(3) 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）	14 P
(4) 子育て短期支援事業（ショートステイ）	15 P
(5) ファミリー・サポート・センター事業	16 ~ 17 P
(6) 一時預かり事業	18 P
(7) 延長保育事業	19 P
(8) 病児・病後児保育事業	20 P
(9) 放課後児童クラブ（学童保育所）	21 P

1. 人口の推移

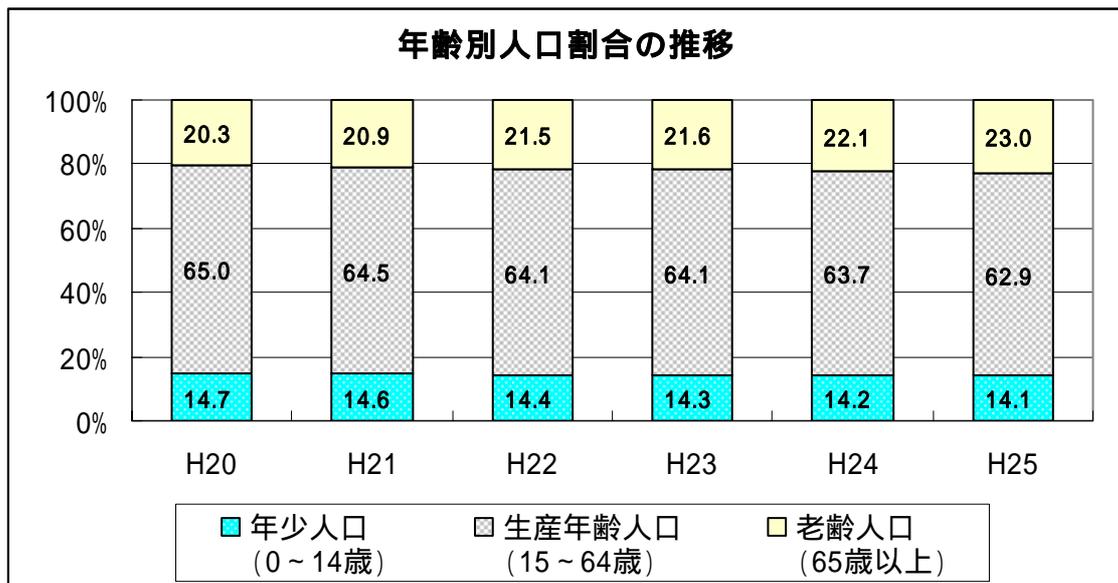
本市の人口は、国勢調査(H22)によると、平成22年は30万7,766人でしたが、その年をピークに減少する推計となっています。

実際には、本年3月末現在の人口は31万2,856人となっています。



出典資料：H22までは国勢調査結果、H27とH32は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25年3月推計)」より

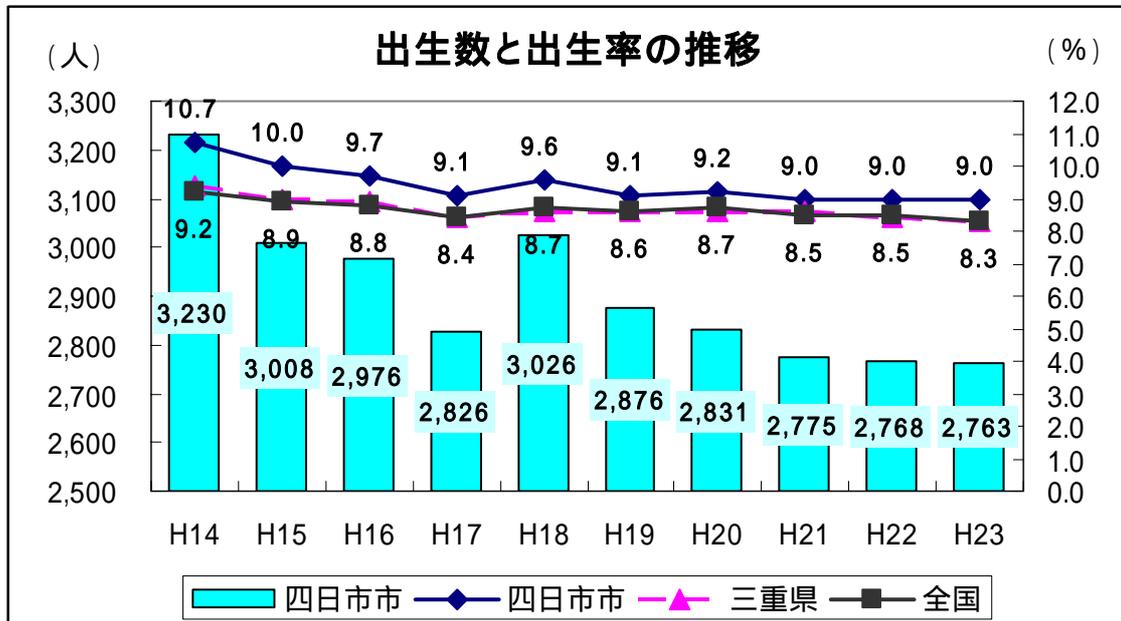
また、本市の人口を年齢別にみると、高齢人口の割合は増加していますが、生産年齢人口及び年少人口は減少の傾向となっています。



出典資料：各年3月末現在の住民基本台帳より

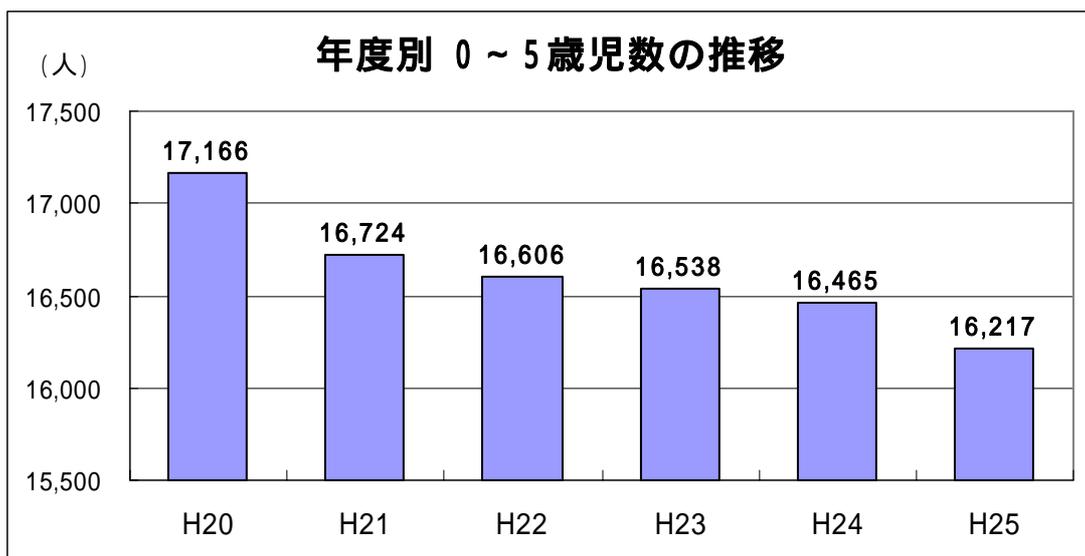
2. 出生数の推移

出生率で見ると、全国平均より高い値となっていますが、出生数は減少の傾向となっています。



出典資料：市「保健所事業の概要」より

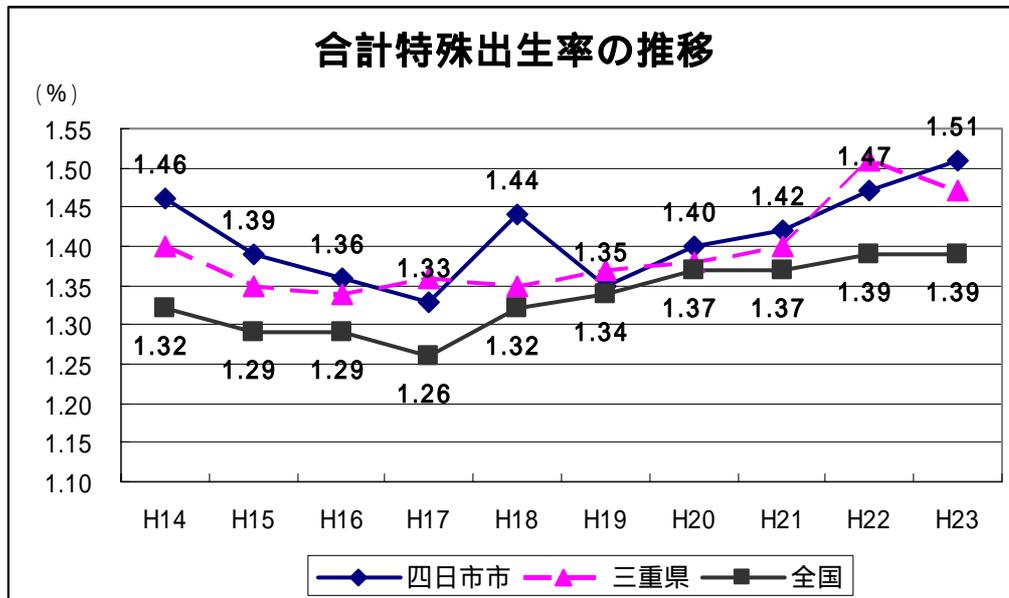
年度別に0～5歳児数を比較すると、出生数と同様、減少傾向となっています。



出典資料：各年3月末現在の住民基本台帳より

3. 合計特殊出生率の推移

合計特殊出生率は「15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、一人の女性が一生の間に生むとしたときの子ども数に相当し、四日市市の合計特殊出生率は、平成19年から微増の傾向となっています。



出典資料：三重県衛生統計年報より

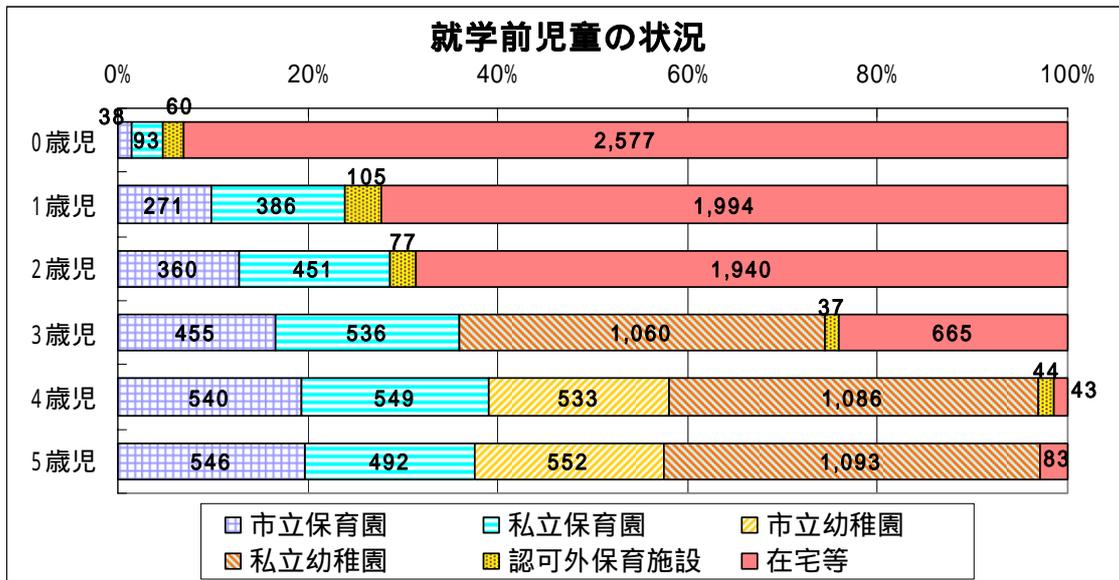
4. 就学前児童の状況

0歳児は、ほとんどの児童が家庭で子育てが行われ、1～2歳児では、2～3割の児童が保育園に通い、3歳になると私立幼稚園に通う児童が一番多くなっています。

(人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
就学前児童数	2,768	2,756	2,828	2,753	2,795	2,766	16,666
市立保育園	38	271	360	455	540	546	2,210
私立保育園	93	386	451	536	549	492	2,507
市立幼稚園	-	-	-	-	533	552	1,085
私立幼稚園	-	-	-	1,060	1,086	1,093	3,239
認可外保育施設	60	105	77	37	33	11	323
在宅等	2,577	1,994	1,940	665	54	72	7,302

就学前児童数・保育園等は平成25年4月1日現在、幼稚園は平成25年5月現在の児童数



(1) 保育園の状況(市立25園、私立26園)

概要

保護者の就労や病気などで家庭での保育ができない乳幼児を保育する、児童福祉施設

対象児童

生後4ヶ月若しくは満1歳から小学校就学前(5歳児)まで。

但し、一部私立園(12園)では、産休明けより保育対象児童としている。

基準

原則、四日市市に住民登録があり、保護者が労働、疾病、障害、看護、出産等により、家庭での保育が出来ない場合に、利用できる。

利用時間

7時30分から18時(クラス単位とした保育は、8時30分から15時30分。土曜日は正午まで)

利用者負担

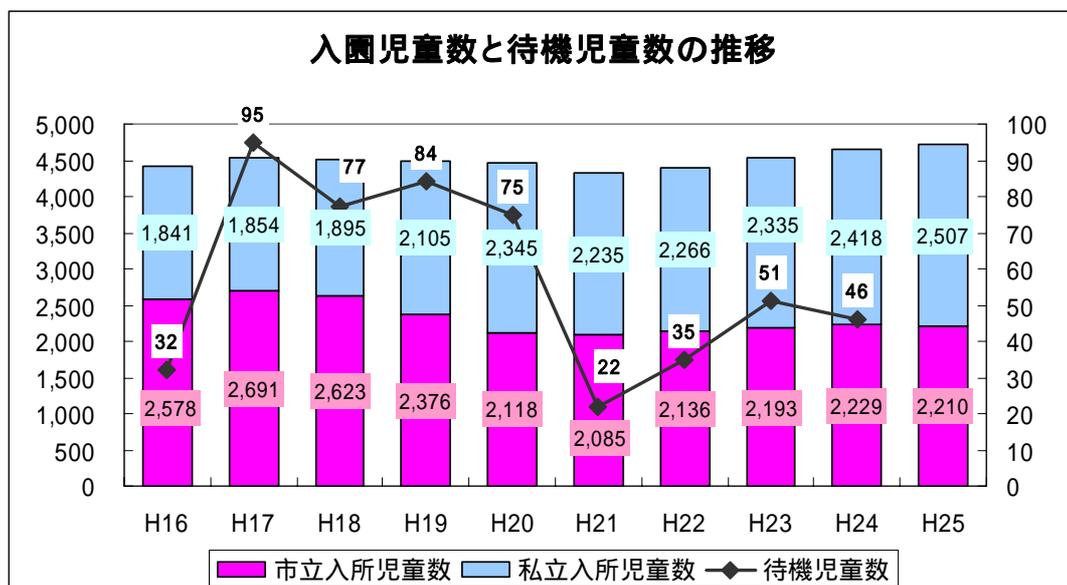
保護者世帯の前年所得税額と保育園児の年齢から決定される。

(3年齢区分 12階層)第2子(半額)第3子(全額)減免あり。

保育園入園児童数及び待機児童数

年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
市立入園児童数	2,578	2,691	2,623	2,376	2,118	2,085	2,136	2,193	2,229	2,210
私立入園児童数	1,841	1,854	1,895	2,105	2,345	2,235	2,266	2,335	2,418	2,507
待機児童数	32	95	77	84	75	22	35	51	46	9

入園児童数は各年度4月1日付 四日市市に住民登録のある者 市外園含む
待機児童数は各年度10月1日付(25年度については4月1日付)

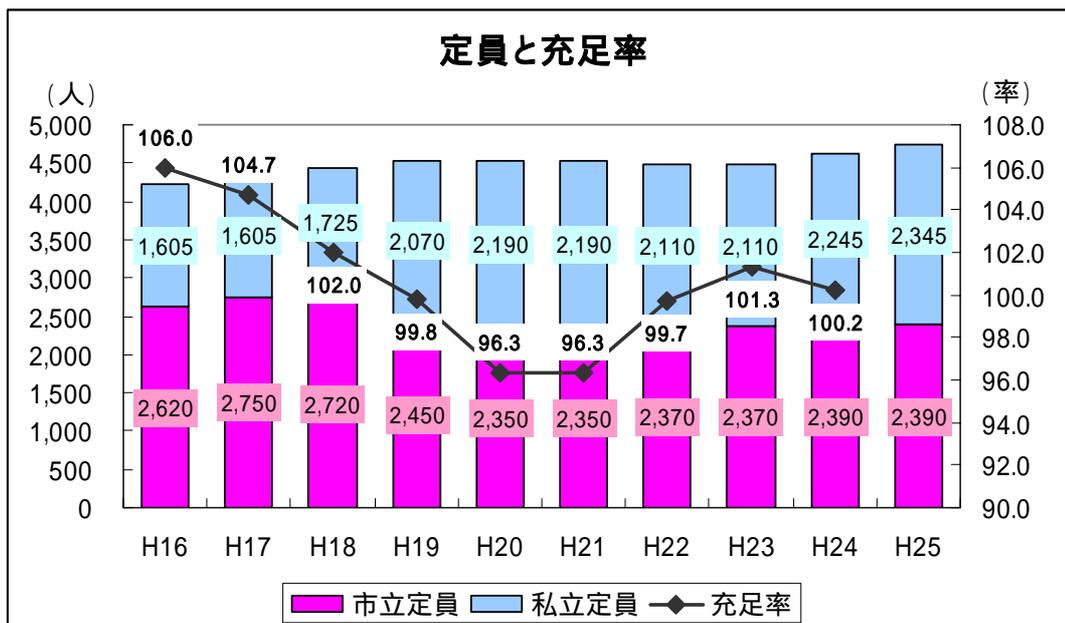


保育園の定員及び充足率

年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
市立定員	2,620	2,750	2,720	2,450	2,350	2,350	2,370	2,370	2,390	2,390
私立定員	1,605	1,605	1,725	2,070	2,190	2,190	2,110	2,110	2,245	2,345
充足率	106.0	104.7	102.0	99.8	96.3	96.3	99.7	101.3	100.2	98.7

月入園児童数の延べ人数で算出（延べ入園児童数 / 定員 × 12 月）

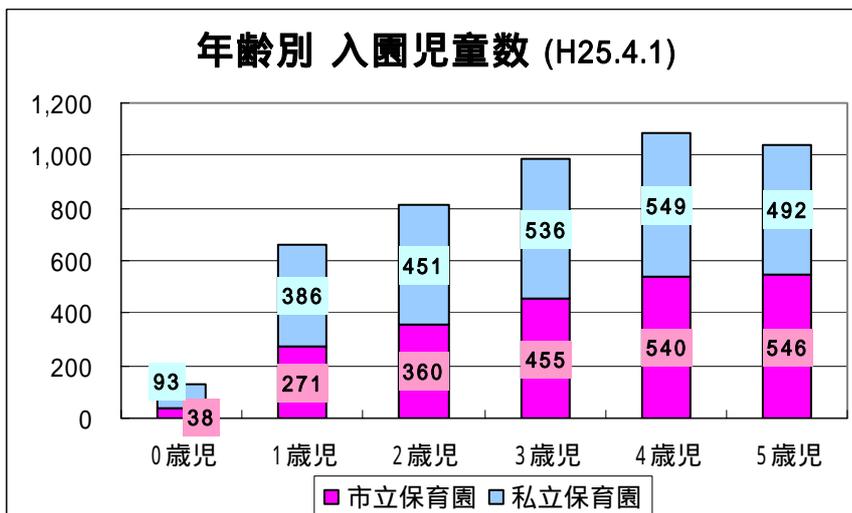
25 年度は、4 月 1 日付入園児童数で算出



入園児童の年齢別数

	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計
市立保育園	38	271	360	455	540	546	2,210
私立保育園	93	386	451	536	549	492	2,507
合計	131	657	811	991	1,089	1,038	4,717

平成 25 年 4 月 1 日現在の入園児童の内訳



次世代育成支援行動計画重点事業の推進状況

認可保育所の定員数や、特定保育事業、あるいは休日保育事業といった特別保育の実施園数について、目標数値を念頭に、民間保育所との連携を図りながら、進めていきます。

指標	実績（H24年度）	目標数値（H26年度）
認可保育所 定員数	4,635	4,700
特定保育事業 施設数	11	16
休日保育事業 施設数	2	4
特別支援保育事業 拠点保育園数	7	8

認可保育所とは、児童福祉法に基づいて設置された保育所をいいます。

特定保育事業とは、週2、3日利用できる保育事業をいいます。

休日保育事業とは、日曜・祝日の休日に利用できる保育事業をいいます。

特別支援保育事業（拠点保育園）とは、障害のある子どもの保育を行うため、人的及び物的に保育環境の整えられた保育園をいいます。

(2) 幼稚園の状況(市立23園、私立14園)

概要

幼児を保育し、適当な環境を与えてその心身の発達を助長することを目的とした学校教育施設。

対象児童

- ・市立 保護者が市に居住する満4歳児(その年の4月1日における年齢)から、小学校就学前まで。
- ・私立 3歳児(その年の4月1日における年齢)から、小学校就学前まで。一部の園では満3歳到達時より対象としている。

利用時間

8時30分から14時30分

私立幼稚園の一部では18時程度までの預かり保育(延長保育)を実施。

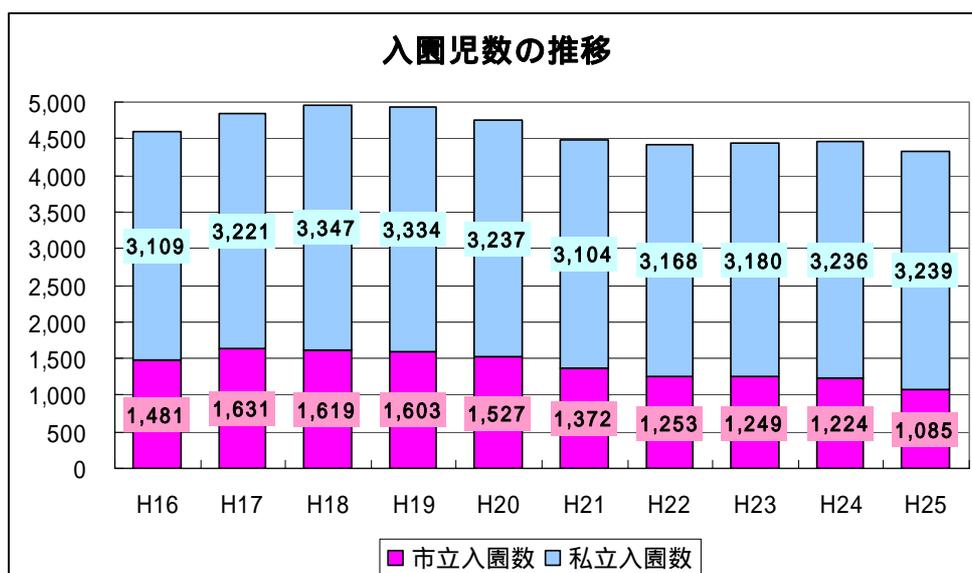
利用者負担

- ・市立 月額6,900円 入園料なし 低所得者及び第3子以降(無料)減免あり。
- ・私立 (平均)月額約22,000円 入園料約35,000円
所得に応じた補助制度あり。第3子以降については、実質無料。

幼稚園入園数

年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
市立入園数	1,481	1,631	1,619	1,603	1,527	1,372	1,253	1,249	1,224	1,085
私立入園数	3,109	3,221	3,347	3,334	3,237	3,104	3,168	3,180	3,236	3,239
合計	4,590	4,852	4,966	4,937	4,764	4,476	4,421	4,429	4,460	4,324

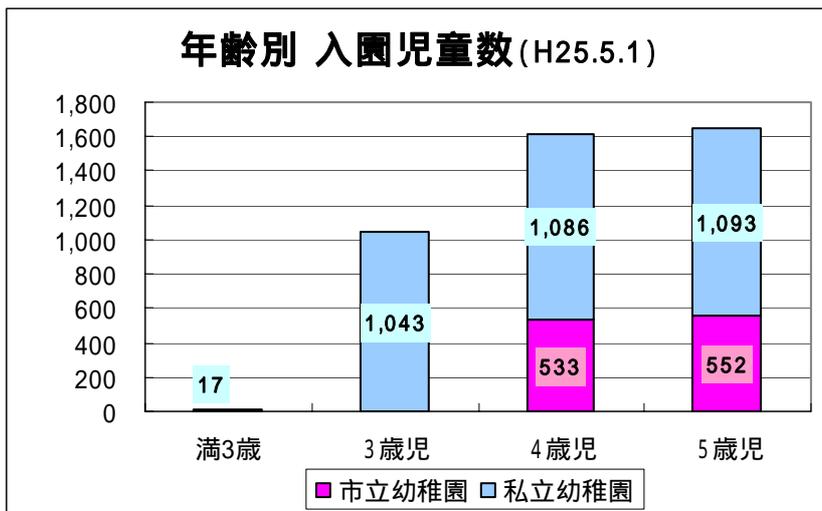
各年度5月1日現在の児童数 四日市市に住民登録がある者 市外園含む



入園児の年齢別数

	満3歳	3歳児	4歳児	5歳児	合計
市立幼稚園	-	-	533	552	1,085
私立幼稚園	17	1,043	1,086	1,093	3,239
合計	17	1,043	1,619	1,645	4,324

25年5月1日現在の児童数

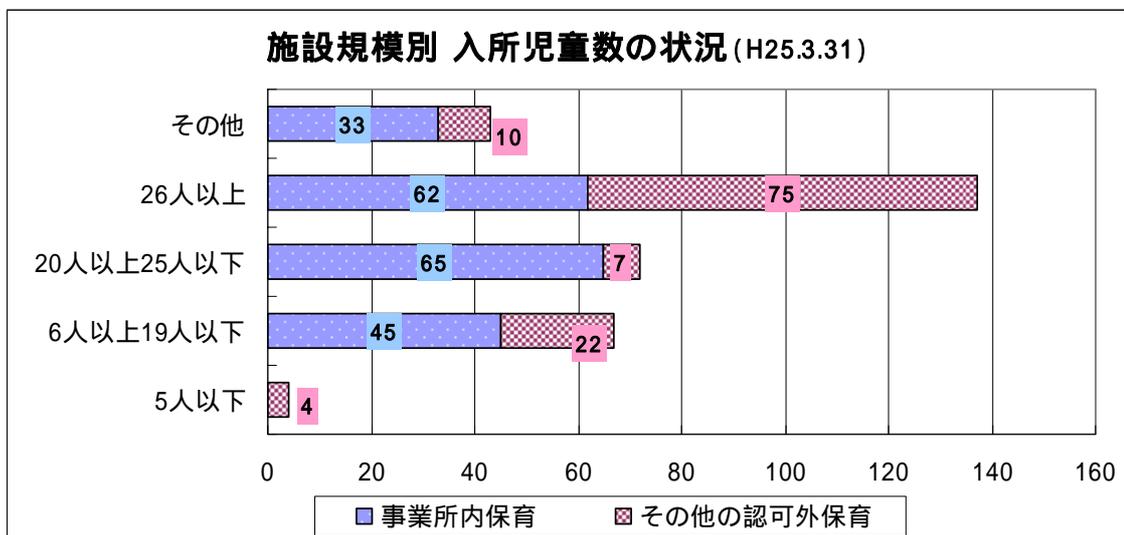


(3) 認可外保育施設の状況

施設数及び利用者数

(H25.3.31 現在)

施設の形態	定員	定員					合計
		5人以下	6人以上 19人以下	20人以上 25人以下	26人以上	その他	
事業所内保育	施設数	0	3	5	2	5	15
	利用者数		45	65	62	33	205
その他の認可外保育	施設数	1	2	1	3	3	10
	利用者数	4	22	7	75	10	118
合計	施設数	1	5	6	5	8	25
	利用者数	4	67	72	137	43	323



次世代育成支援行動計画重点事業の推進状況

保育園への入園待機の児童を受け入れている認可外保育施設について、引き続き支援を行い、市内の待機児童の解消を図っていきます。

指標	実績 (H24 年度)	目標数値 (H26 年度)
認可外保育施設への支援 対象施設数	6	10

5. 地域子ども・子育て支援対象事業の状況

(1) 地域子育て支援拠点事業

概要

育児負担の軽減と育児不安の解消を目的として、おもに0～3歳の在宅乳幼児とその保護者を対象に、子育て支援センターを開設し、相互に交流を行うための場所を提供し、子どもの健やかな育ちを支援しています。

担当保育士を配置し、週3～6日開設しています。

【基本事業内容】

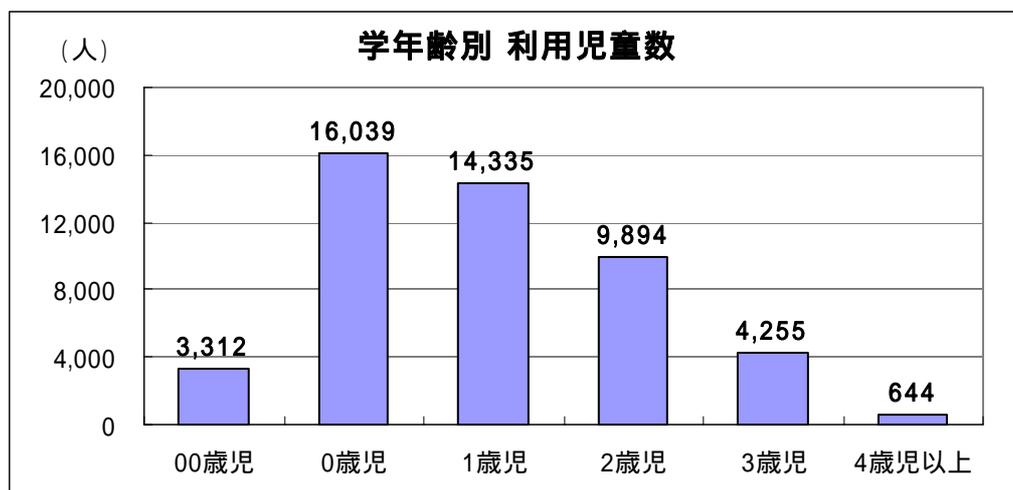
- ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
- ・子育て等に関する相談、援助の実施
- ・地域の子育て関連情報の提供
- ・子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

利用料金 なし

実施施設数及び利用実績（H24年度）

類型	施設数	学年齢						児童計	保護者計	合計
		00歳児	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児以上			
単独型 (公立)	2	773	4,895	5,109	3,605	2,835	390	17,607	14,005	31,612
保育園併設型 (公立)	4	744	2,930	2,774	1,935	349	97	8,829	7,589	16,418
保育園併設型 (私立)	8	858	4,438	4,013	3,018	821	87	13,235	11,017	24,252
医療機関併設型	2	937	3,776	2,439	1,336	250	70	8,808	7,635	16,443
合計	16	3,312	16,039	14,335	9,894	4,255	644	48,479	40,246	88,725

年齢は学年齢（例えば「00歳児」はH24.4.2～、「0歳児」はH23.4.2～H24.4.1、「1歳児」はH22.4.2～H23.4.1）で表しています。



次世代育成支援行動計画重点事業の推進状況

平成24年度に3ヶ所増設し、16ヶ所となり、子育て支援センター利用者の利便性が向上しました。地域バランス等を考慮しながら、目標の設置数に向けて検討していきます。

指標	実績（H24年度）	目標数値（H26年度）
子育て支援センター事業箇所数	16	17

(2) 妊婦健康診査

概要

妊婦を対象に、一般健康診査を医療機関に委託して行い、安全な分娩と健康な児の出生を支援しています。

健診回数

1人につき 14回

実績（H24年度）

	1～5回目	6～14回目
総受診者数（人）	13,896	20,122

次世代育成支援行動計画重点事業の推進状況

平成 24 年度は数値目標を上回っています。早期産等により健診を受ける回数に変化はありますが、今後も受診率の向上にむけ、母子健康手帳交付時および育児教室等の機会を利用し、妊娠中に 14 回受診できるよう指導していきます。

指標	実績（H24年度）	目標数値（H26年度）
受診率（％）	93.7%	92.5%

(3) 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）

概要

おおむね生後 4 か月に達するまでの乳児がいる家庭を保健師・助産師・看護師および赤ちゃん訪問員が訪問し、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結びつけることにより、子どもが健やかに育成できるよう支援を行っています。

訪問実績（H24 年度）

実施者数 2,740 人

次世代育成支援行動計画重点事業の推進状況

4 か月までの赤ちゃんのいる全ての家庭にアプローチし、早期に育児支援を実施しました。今後も対象家庭へのアプローチを生後 4 か月までに実施し、適切な支援へ結びつけることを継続していきます。

指標	実績（H24 年度）	目標数値（H26 年度）
諸問題を把握し、適切な支援に結びつけることができた率（％）	100%	100%

(4) 子育て短期支援（ショートステイ）事業

概要

市内に在住し児童を養育している保護者が、疾病等の社会的な事由により養育が一時的に困難となった場合や、母子が夫の暴力により緊急一時的に保護を必要とする場合等に、施設において児童等を一時的に養育又は保護する支援を行っています。

対象者

次に掲げる事由に該当する家庭の児童又は母子等

- ア 児童の保護者の疾病
- イ 育児疲れ、慢性疾患児の看病疲れ、育児不安等身体上又は精神上の事由
- ウ 出産、看護、事故、災害、失踪その他家庭養育上の事由
- エ 冠婚葬祭、転勤、出張、学校等の公的行事への参加その他社会的な事由
- オ 経済的問題等により緊急一時的に母子保護を必要とする場合
- カ 母子が夫の暴力により緊急一時的に保護を必要とする場合

利用期間

養育・保護の期間は7日以内

利用料金

利用世帯区分（生活保護、課税・非課税、その他）と児童年齢区分（2歳以上・未満、緊急一時保護の母親）から決定されます。

実施施設

- ・エスペランス四日市（児童養護施設・乳児院）
- ・菜の花苑（母子生活支援施設）

利用実績

年度	H20	H21	H22	H23	H24
年間延べ利用者数	144	187	138	89	52

次世代育成支援行動計画重点事業の推進状況

平成24年度においては利用実績が減少したが、利用状況については、年度間で幅がある状況である。今後、ホームページや「子育て情報」のリーフレット、「ひとり親 家庭のしおり」等で周知していく。

指標	実績（H24年度）	目標数値（H26年度）
年間延べ利用者数（人）	52	200

(5) ファミリー・サポート・センター事業

概要

育児の援助を受けたい人（依頼会員）と育児の援助を行いたい人（援助会員）が会員として登録し、相互の信頼と了解のもとに育児の援助を行っています。

< 援助活動 >

- ・ 保育園・幼稚園、小学校、学童保育所までの送迎を行うこと
- ・ 習い事への送迎
- ・ 保育施設や学校、学童保育所の開始前または終了後に子どもを預かること
- ・ 学校や保育施設などが休みの時に、子どもを預かること・・・など

利用料金

・ 通常の利用

7時～19時 700円/時間（それ以外の時間帯 800円/時間）

・ 緊急時および病児病後児の預かり

7時～19時 1,000円/時間

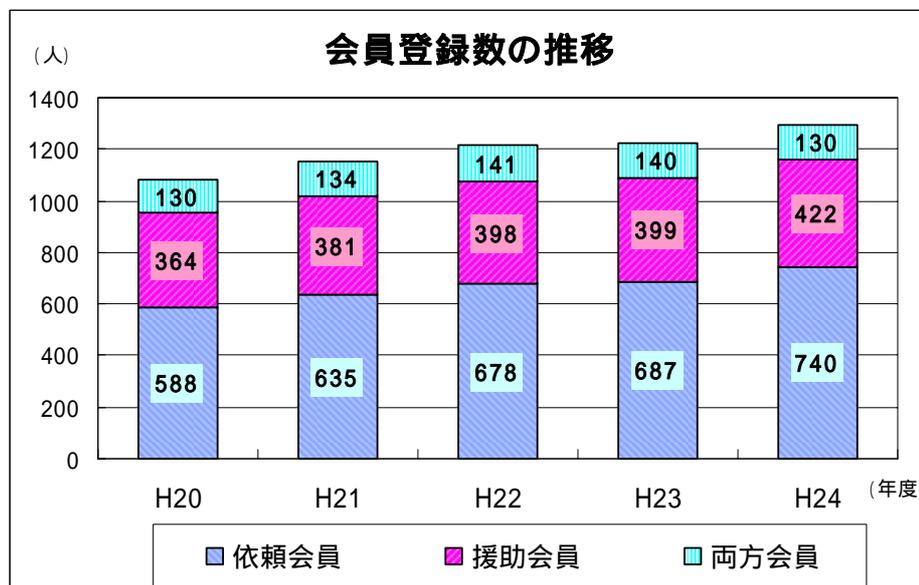
（それ以外の時間帯、日曜・祝日・休日は全日 1,200円/時間）

食事代・交通費などの実費徴収あり。

利用実績

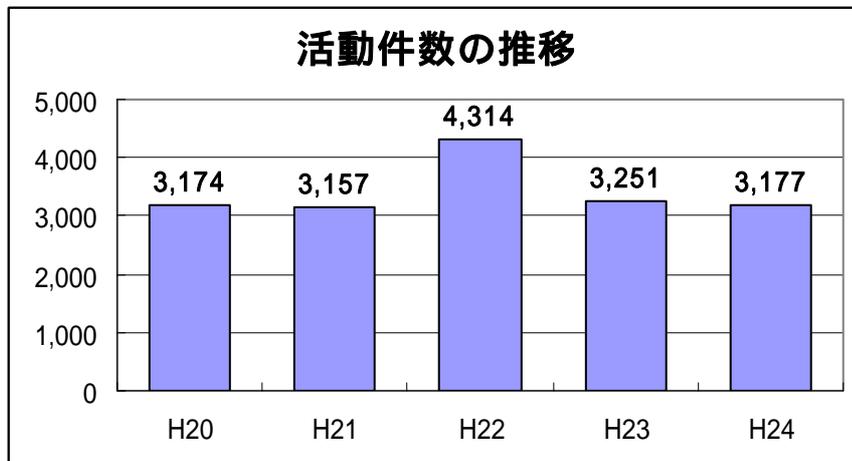
< 会員登録数 >

年度	H20	H21	H22	H23	H24
依頼会員	588	635	678	687	740
援助会員	364	381	398	399	422
両方会員	130	134	141	140	130
合計	1,082	1,150	1,217	1,226	1,292



< 活動件数 >

年度	H20	H21	H22	H23	H24
活動件数	3,174	3,157	4,314	3,251	3,177



次世代育成支援行動計画重点事業の推進状況

援助会員の増加に向けて広報活動や講習会等を継続的に行った結果、会員数が増加し、目標数値を達成することができました。

指標	実績（H24年度）	目標数値（H26年度）
会員数（人）	1,292	1,200

(6) 一時預かり事業

概要

保護者の就労形態の多様化（パートの増大等）に伴って一時的に保育に欠ける児童や、保護者の育児疲れや急病により緊急に保育を必要とする児童に対して、一時保育を実施しています。

対象者

・非定型的保育サービス事業

保護者が労働、職業訓練、就学など、断続的に家庭保育が困難になる児童。原則として週3日以内。

・緊急保育サービス事業

保護者の疾病、災害・事故、出産、看護・介護、冠婚葬祭等社会的な事由により緊急一時的に家庭保育が困難な児童。

・私的理由によるサービス事業

保護者の育児に伴う心理的・肉体的負担の解消のため、家庭保育が困難になる児童。

実施施設（H25年8月現在）

	公立保育園	私立保育園	合計
実施園数	2	12	14

利用時間

平日 8:30～16:30 土曜日 8:30～正午

利用料金

0・1・2歳児 3,000円前後/1日
3歳児以上 2,000円前後/1日

利用実績（H24年度）

5,382人（延べ利用児童数）

次世代育成支援行動計画重点事業の推進状況

実施園については、前年度から2園増加し、併せて、利用者も増加しました。今後も、民間保育所との連携を図りながら、一時保育の実施を促進していきます。

指標	実績（H24年度）	目標数値（H26年度）
施設数	13	14

(7) 延長保育事業

概要

多様化する保護者の勤務時間や通勤時間等に対応するため、11 時間の開所時間を超えてさらに延長して保育を実施しています。

対象者

各園の在園児

実施施設（H25年8月現在）

	公立保育園	私立保育園	合計
実施園数	1	23	24

利用時間

18時から19時まで（一部の園は20時まで）

利用料金

< 公立（中央保育園） >

区分	1人目	2人目以降
下記以外の世帯	5,000円	2,500円
母子家庭等で保育料の免除を受けている世帯	600円	300円
生活保護世帯	0円	0円

< 私立保育園 >

各園にて設定

利用実績（H24年度）

2,286人

次世代育成支援行動計画重点事業の推進状況

実施園については、H24年の民間保育所（1園）の新規開設に伴い、前年度から1園増加しました。また、利用者数についても増加しており、今後も、民間保育所との連携を図りながら、延長保育の実施を促進していきます。

指標	実績（H24年度）	目標数値（H26年度）
施設数（園）	23	24

(8) 病児・病後児保育事業

概要

保護者の勤務などの都合により、保育園や幼稚園、小学校に通っている児童が病気または病気の回復期にあるが、まだ集団生活に不安がある間、病児保育室「カンガルーム」で一時的に児童の保育を行っています。

利用時間

月曜日～土曜日の8時45分～17時30分

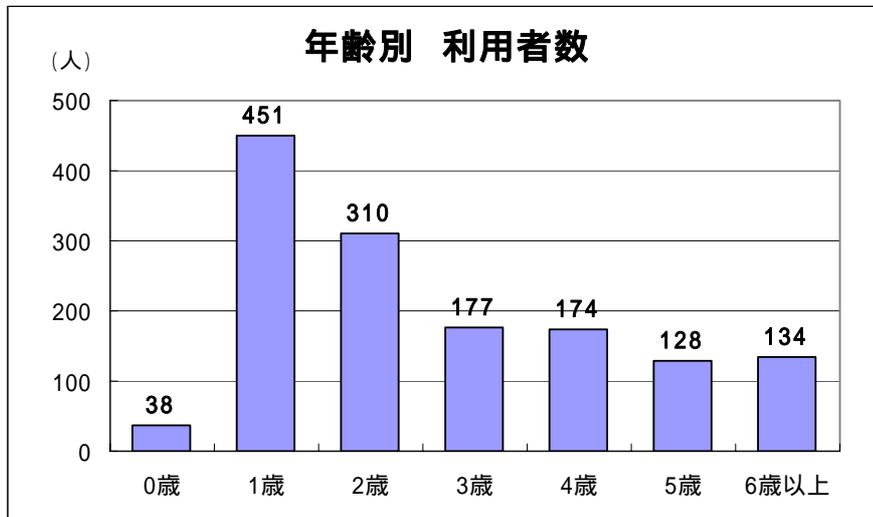
利用料金

利用料 1日2,000円 食事代等の実費徴収あり。
 (ただし、所得税非課税世帯1,000円、市民税非課税・生活保護世帯は無料)



利用実績 (H24 年度)

	年齢							合計	開設 日数
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳以上		
利用者数	38	451	310	177	174	128	134	1,412	292



次世代育成支援行動計画重点事業の推進状況

設置数は1施設のみであったものの、多くの保護者に利用されています。
 あと1施設増設できるよう努めていきます。

指標	実績 (H24 年度)	目標数値 (H26 年度)
施設数	1	2

(9) 放課後児童クラブ(学童保育所)

概要

保護者の就労等により、昼間、留守家庭の小学生の児童が放課後や夏休みなどに学童保育所に通所し、適切な遊びや指導員による健康管理、安全確保、情緒の安定など、家庭の保護機能の補完的役割を果たす生活の場として保育を行っています。

対象者

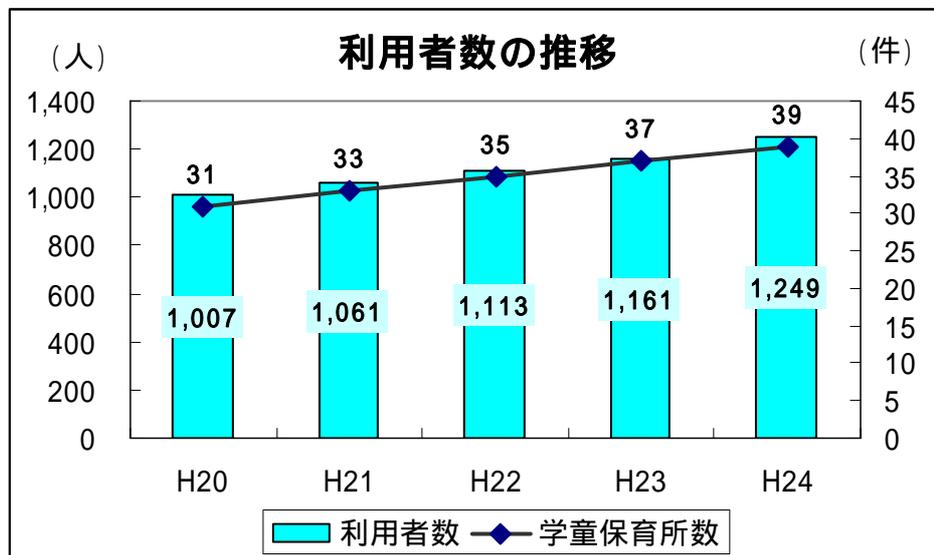
主として小学1～3年生(必要に応じて小学6年まで)

実施施設及び利用実績

学童保育所は、地域の団体や保護者の代表などで組織された運営委員会により、市の助成と利用者の保育料により運営される民設・民営の保育を行っています。

平成25年度は三重北学童保育所が新たに設置され、現在40カ所で運営されています。

年度	H20	H21	H22	H23	H24
学童保育所数	31	33	35	37	39
利用者数	1,007	1,061	1,113	1,161	1,249



次世代育成支援行動計画重点事業の推進状況

学童保育所運営委員会に対し、大規模化した学童保育所の分割や未設置校区における新規学童保育所の開設等の支援を行い、利用児童数は増加傾向にあり、目標数値を達成する見込みとなっています。

指標	実績 (H24 年度)	目標数値 (H26 年度)
学童保育所の実利用児童数 /月(人)	1,249	1,320